

令和6年12月16日

保護者 様

神崎市立千代田東部小学校
校 長 富永 和重

令和6年度 第2回「学校評価アンケート」結果について

寒冷の候、日頃より本校の教育活動に対するご理解とご協力ありがとうございます。

さて、11月に実施しました、第2回「学校評価アンケート」の集計結果について、下記のようにお知らせいたします。集計にあたり、「1：よくあてはまる 2：だいたいあてはまる 3：あまりあてはまらない 4：全くあてはまらない」のご回答で、「1」と「2」の合計を「**A 評価**」としています。

2回目の結果も、全般的に90%を超える項目が多かったです。しかしながら、1回目よりも数値が下がった項目がいくつかありました。これらの結果を今後の学校経営に反映させ、保護者・地域の方に信頼され、子供たちが「夢に向かって、気づき、考え、行動する」学校づくりに役立てていきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケートで「**A 評価**」が**95%以上**の項目

- ・学校の様子を分かりやすく伝えている
- ・学校公開を積極的に行っている
- ・分かりやすく考える授業を行っている
- ・「すみそよいあじ」が定着してきている
- ・子どもの安全のための指導を行っている
- ・地域を生かし連携した教育を行っている
- ・毎日元気に登校している
- ・毎日宿題をしている

2 保護者アンケートで「**A 評価**」が**85%未満**の項目（課題）

- ・家庭で子どもの良いところを見つけ伝えている
- ・スマホ、ゲーム等はルールや時間を決めて使わせている

① 児童アンケートで「**A 評価**」が**95%以上**の項目

- ・学校は楽しい
- ・学校のきまりを守っている
- ・友だちと協力する
- ・粘り強く頑張っている
- ・自分には「良いところ」がある(100%)
- ・朝ごはんを食べている(100%)
- ・ノーゲームデーの取組をしている
- ・無言掃除ができています
- ・自分から進んであいさつをする
- ・トイレのスリッパを並べている
- ・学年の時間、家で勉強できている
- ・ヘルメットをかぶる
- ・千代田の町や人が好き

② 児童アンケートで「**A 評価**」が**85%未満**の項目 …… なかったので近い項目（課題）

- ・本を読んでいる（89.2% ほぼ前回と同じ）
- ・いつもきちんと整理できている（88.3% 前回より↓）
- ・昼休み外で元気に遊んでいる（86.5% 前回より↓）

○ 子どもの自尊感情を育てるために

<保護者アンケート>

- ・ 良いところや頑張っているところを見つけ、伝えたりカードに書いたりしている
83.6% (1回目80.7%)

<児童アンケート>

- ・ 「自分には良いところがある」 100% (1回目97.3%)

本校は「自己肯定感の向上」をめざし、子供たちを認め、ほめ、励ましています。前回、1学期の結果と比較しますと、上記の保護者アンケートの項目は上昇していました。ご協力、本当にありがとうございます。また、児童アンケートの項目はさらに上昇し、全員が肯定的な回答をしていました。継続した取組の効果が上がっていると言えます。今後も、以下のことを推進していきます。

- ・ 「ぽかぽかカード」「心の木カード」の活性化（給食時の放送で定期的に紹介しました）、スターカード・シールの取組、マナー教室や帰りの会での認め合い活動等の取組を充実させることにより、自分や友達の良さを自覚させたり伝えさせたりします。
- ・ 自分や友達の良さに気付かせる「エンカウンター活動」や、スクールカウンセラーの先生による授業も全学年で随時取り入れていきます。
- ・ 上記の活動、取組の様子や児童の振り返り等を、学級だより等で保護者にお伝えしていきます。
- ・ ご家庭からの「心の木カード」も、たくさん提出してもらっています。今後もカード記入にご協力ください。

○ 家庭学習の定着に向けて

<保護者アンケート>

- ・ 毎日学年で決められた時間、家庭学習をしていますか。
76.4% (1回目76.2% 1年前64.8%)
- ・ 毎日宿題をして学校に行っていますか。 96.5% (1回目100%)

<児童アンケート>

- ・ 毎日学年の時間（10×学年+10）、家での勉強ができていますか。
95.5% (1回目94.5% 1年前92.2%)

保護者アンケートの結果では、1回目（1学期）とほとんど変わらず、引き続き家庭学習時間が十分確保されていない現状が見られました。また、今回も保護者と児童の認識のずれが大きく見られます。しかし、どちらも1年前より上昇していることから、取組によって定着が図れていると言えます。3学期は、次学年に向け、さらなる児童の学習意欲の向上と家庭学習の出し方について工夫していきます。

- ・ 「自学ノート」を活用した自主学習への取り組みを更に充実させます。
- ・ 「1人1台端末」を効果的に用い、「タブレットドリル」などの教材を活用し、学校と家庭での学習をつなげ、基礎基本の確実な習得に努めます。
- ・ 3学期も「家庭学習頑張ろう週間」に取り組み、家庭学習の定着に努めます。
- ・ ご家庭でも、平日だけでなく休日にも学習習慣が身に付くよう、温かい見守り、励ましの言葉掛けをお願いします。

● 気になった評価項目

<保護者アンケート>

- ・ スマホ、ゲーム等はルールや時間を決めて使わせている。 83.6% (1回目86.3%)

「1人1台端末」の活用は、国、県、そして神崎市としてここ数年力を入れており、東部小でもだいぶ定着したと思われます。定着したが故に、ご家庭での電子機器の利用も質・量ともに増加していることと思われます。そのような中、今回の結果は微減でした。今後、学校とご家庭とでより一層連携を図り、「タブレット PC」による学習や、ゲーム（機）などの使い方についてモラル意識を高め、児童が今後さらに効果的に活用できるようにしていきます。